魔法使いサリー（1990）

メディア 映画　アニメ
ジャンル ファンタジー　魔法　コメディ
製作国 日本
色彩 Color
時間 25分
初公開日 1990/03/10
公開情報 東映

【解説】
日本初の少女向けアニメとして、モノクロ放送時代に始まった『魔法使いサリー』。20年の時を経て、続編を意識して復活させた平成版『サリー』の劇場公開用作品が本作となる。春になってもまだ肌寒い日が続いていたある日、いたずら好きな魔法使い・ポロンが見た夢は、生き別れになっている本当のママの夢。その夢の中は暖かな日差しで包まれ、ママはハープを奏でていた……。その頃、サリーは友達の春日野すみれから、絵本の中から悲しげな声が聞こえると、相談を受けていた。だがそこに駆け込んで来た花村よし子は、彼女の三つ子の弟たちが凍った池の氷の上に取り残されてピンチだという。早速、三つ子たちを助けに向かうサリー。無事に事件は落着し、すみれの相談を聞こうとするサリーだったが、ポロンの姿が見えなくなっていた。そして、すみれが言う「悲しげな声が聞こえる絵本」の妖精を描いたページが光りはじめていて……？

【クレジット】
監督 葛西治
製作 今田智憲
企画 横山和夫
東伊里弥
原作 横山光輝
脚本 酒井あきよし
作画監督 山口泰弘
撮影 渡邉英俊
美術 吉池隆司
編集 花井正明
音楽 美野春樹
声の出演 山本百合子
本多知恵子
西原久美子
内海賢二

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.